

埼玉育ちのグローバル人

いきなりトンガ

第2回 「どんな仕事」

元 JICA 海外協力隊 2018 年度 1 次隊
トンガ王国・コミュニティ開発
伊藤 有未さん



第2回目は、JICA 協力隊での活動内容と任地エウア島について、お話をさせていただきます。

大洋州諸国が抱える肥満問題

大洋州諸国では、肥満問題が深刻化しています。トンガの成人の約7割以上が、非感染性疾患（以下、NCDs）に罹患あるいはその予備軍にあたると言われていています。人々の食生活を中心に糖尿病や高血圧等のNCDsの予防・改善対策に取り組むため、私は農業・食料・林業省（日本の農林水産省にあたる）エウア支局の女性開発部署に配属されました。

どうして肥満問題が起きているのか

派遣前よく聞いていたのは、主食がイモ類だからではないかとの指摘です。私もその説を有力視していましたが、隊員間研修を通じて、土壤不能や人口過密による土地不足でお米を主食とする一部の大洋州地域でも肥満問題が挙げられていることを知りました。私は栄養学専門ではないので、学術的、生物学的根拠を用いての答えは導き出せませんでした。トンガでの実生活をもとに、文化風習的および所得生活環境の観点から考えられる因子を下記のように考えました。

- － 教会行事や冠婚葬祭で食事は必至
- － 基本的に食事は多めに作る
- － 低カロリーの腹持ち悪い食材の摂取は後回し
- － 輸入食材等の安価で高カロリーの摂取過多

- － 健康管理や栄養摂取の食育が未熟
- － 肉体労働はあっても、運動習慣がない
- － 子どもに指示して、自分は動かなくなる



意識・実態アンケート調査時の様子

任期1年9ヶ月、最初の半年間を調査期間とし、まずは任地エウア島の15コミュニティを巡回し、成人女性122名に意識・実態調査を実施しました。

一部の質問項目と結果を共有させていただくと、痩せたいと思う人は118名、太っている女性が美しいと思わない人が107名、輸入食材を健康によいと思わない人が106名、野菜栽培が好きと答えた人は121名の結果となりました。島の女性の平均体重は100キロ超、1週間あたりの砂糖および小麦粉の購入量は2キロが平均値ということが、意識・実態調査のアンケート結果より分かりました。

誰かのきっかけになる

調査後、隊員として任国の文化・風習やその国の環境を尊重しながら、「トンガの人たちが、自らの手で新たな健康体づくりのあり方を見つけてほしい」との想いを込め、「誰かのきっかけになる」という在任期間中の自身の隊員目標を定めました。

在任期間中、私は現地エウア島の農業省職員と共に、具体的に下記のような活動を行いました。

- － 毎日の農作物市場調査
- － 野菜の育苗と配布
- － ワークショップ：BMI計測とクッキングデモ
- － エクササイズ促進
- － 保健省とのコラボレーション企画
- － 農業省四半期会議での活動報告
- － 国事である農業祭でのパネル展示参加
- － JICA大洋州NCDs（生活習慣病）在外研修の企画・実行

詳細は[埼玉親善大使レポート](#)にも書かせていただいております。ご興味のある方、ご覧ください。



農業省の菜園で育苗した野菜を配布

農業省エウア支局で働く同僚の力添えは勿論、ワークショップに参加してくれたエウア島の女性たち、幹部が集まる農業省四半期会議にて活動報告の機会をくださった首都の農業省職員、日々の隊員活動を支えてくださったJICAトンガ支所の皆様、大洋州地域でNCDs予防改善という同じ目標を持つ隊員のご協力があったからこそ、上記の

活動を通して、隊員目標を達成できたと思います。



1年9ヶ月お世話になった農業省の同僚たちと

任地エウア島って？

エウア島は首都ヌクアロファの南東に位置し、飛行機で7分、船で2時間強と最も首都に近い離島。トンガの中でも緯度が下がるため、気候は他の地域よりもやや寒く、南国の果物だけでなく、みかんの収穫ができるのもエウア島の特徴です。

海派も山派も楽しめるのが、エウアの魅力。海派の方は、ホエールスイムがおすすめです。ベストシーズンは、8月末から9月。ボートに乗り数十分、船頭の合図で静かに海に潜れば、クジラが横を通りすぎるなんてことも。山派の方は、樹齢数百年にもなる木々や手付かずの自然を感じながら、島の最北、南、東部から太平洋を一望できるスポットへハイキングに出かけてみてください。



飛行機から撮影した任地の様子

以上、今回は協力隊の活動と任地についてお話しさせていただきました。それではまた、Toki sio!